

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			
	2	職員の配置数は適切であるか	6			必要な人数は確保されている。送迎が重なる時は活動時間・内容を工夫し、職員連携を密にして安全に過ごしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	1	・正面玄関はバリアフリー化されていますが、施設裏側出口はバリアフリー化されていない為、車椅子やバギーのお子さんは安全を確保しながら表の道を使っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1		全職員が積極的に意見を言える雰囲気을大事にしています。毎日のミーティングでふり返り、支援内容や改善内容を確認しながら取り組んでいます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			いただいたご意見を真摯に受け止め、ケース会等で話し合い、改善するように努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			毎年ホームページに公開しています。また、保護者の皆様にはお手紙も配布しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	0	外部評価は行っていませんが、法人内で交換研修を行い、評価することで業務改善に繋げています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			年に1度外部講師による研修を行っています。施設内の研修では、支援の方向性の確認はしっかり行うようにしています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			個別支援計画を作成する際は、保護者の面談希望のアンケートをとり、面談して子どもの様子を共有しながら課題整理を行っています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2		入所時には決まったアセスメント用紙を使って状況を把握しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2		毎月会議を行い、季節や今の子どもたちの課題に合わせた活動を考えています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		子どもの状況に合わせてながら計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			登所前にミーティングを行い、活動の流れや役割分担を確認や活動の事前準備をしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			支援終了後のミーティングは毎日行い、翌日以降の支援に繋げています。その日にいない職員の為、話し合ったことをノートにまとめ共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			子どもの課題だけでなく、良いところ、強みを意識して記録を残すように心掛けています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		ケース会や個別支援会議等で状況確認しながら、判断しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4	2		活動の内容は偏りがないように計画しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		管理者中心にふさわしい職員が対応しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			送迎時には子どもの様子を確認して情報の共有を心がけています。地域の中学校は予定変更も多いので、電話やファクス等で密にやり取りしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1		要請があれば就労移行会議に参加させて頂いています。施設での様子をまとめて提供することもあります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3		今年度は発達支援センターの研修に参加していませんでしたが、昨年までは参加していました。次年度はまた職員に参加を促していきたいと思っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	2	次年度は検討していきたいと思っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	1	坂戸市児童部会に管理者や職員が定期的に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			日々の送迎時にできるだけ気づいたことやその日の様子を伝えるようにしています。また、保護者からの相談にも丁寧に対応しながら支援の共通理解ができるよう努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3		面談の機会を持ち、お子さんの様子を共有し、困りごとなどあれば、対応の提案や統一された対応を保護者の皆さまと話し合っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時に説明をしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			話しやすい環境と一緒に考えていく姿勢を大切に心がけています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		6		来年度は必要に応じて、保護者向けの研修会等も企画していけたらと思っています。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			会議で職員と共有し、原因や対応策、改善策などを話し合い、保護者にも内容によって謝罪や説明を丁寧に行うようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		・保護者向けのおたより「かけはし」を通じて発信しています。また、ブログも不定期ですが、活動の様子をあげています。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	5		地域住民の招待等は行っていませんが、地域のイベントで野菜販売を行う等で地域活動の場を広げています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			各マニュアルはファイリングされ、いつでも確認できるようになっています。緊急対応はすぐに確認できるように壁掛けされています。今後は各職員が意識を高めて緊急時の対応がとれるようにしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			児童を交えた避難・消火・通報訓練を定期的に行っています。また、職員のみで曜日や時間を想定して行う訓練も行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			年1回虐待・身体拘束に関する研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			現在は該当者はいませんが、身体拘束の指針をまとめ、対応できるようにしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		アレルギーのある子どもについては掲示して、職員がわかるようにしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			ヒヤリハットはその都度書くようにし、回覧にて全職員で共有しています。関連事業所のものも共有しています。